

## ごみ減量化モデル事業最終アンケート調査結果

ときがわ町では令和3年度も町内 2 地区、30 世帯の方々にごみ減量化モデル地区として、ごみの減量化・資源化のご協力をいただきました。

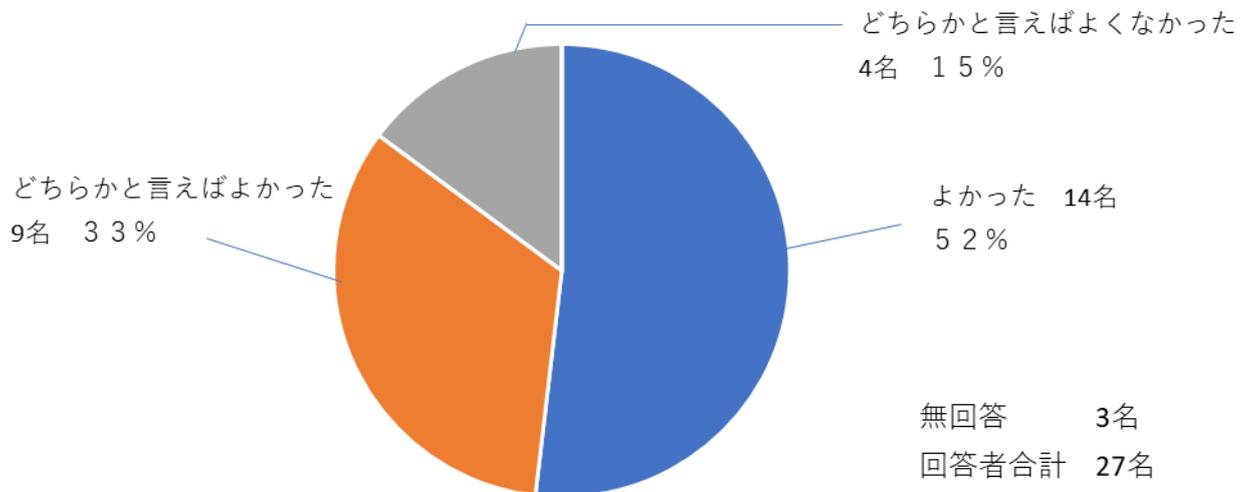
今後、町全体への取り組みへつなげていくために、昨年度1年間ご協力いただいた皆様に以下の内容でアンケート調査を行ない、結果を取りまとめましたので報告いたします。

- 1 アンケート目的:ごみ減量化に取り組んでいる世帯の意識や意見を参考にして、今後の事業展開に役立て、町全体への取組みに広げる。
- 2 アンケート対象:ごみ減量化モデル事業の協力世帯(30 世帯)  
【 仲井1区 15 世帯 馬場区 15 世帯 】
- 3 アンケート期間:令和4年4月8日～令和4年5月27日
- 4 アンケート方法:協力世帯にアンケート用紙を直接配布。無記名で回収。

## 5 アンケート内容と結果

### 問1 ごみ減量化モデル事業に参加してどうでしたか？

問 1	回 答		計
	1	よかった	14
	2	どちらかと言えばよかった	9
	3	どちらかと言えばよくなかった	4
	4	よくなかった	0
合 計		27	

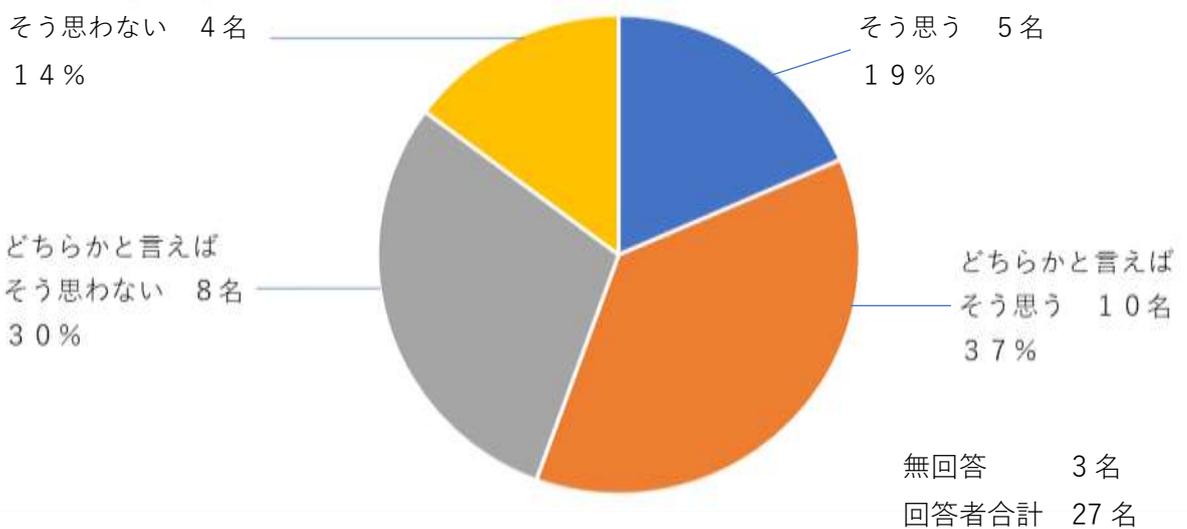


### [ 問 1 に関するご意見 ]

- ・ ごみ分別に対する意識と知識が大きく変化した。
- ・ 以前からできるだけごみは出さないように気を付けているが、さらに意識するようになった。  
ただ、長くは続かないため習慣として自然に減量ができるよう努めたい。
- ・ ごみの分別について意識が高まった。
- ・ モデル事業に参加した事により資源の再利用の大事さを認識した。
- ・ 1年間は大変なので、半年で良いのではないか。
- ・ 計量・記録の作業がかなり大変だった。始めた当初や、時間に余裕がある時は苦でなかったが、週に3回が続いてくると辛い。
- ・ 整理、整とんが出来た。

問 2 生ごみや雑がみを分別することで、可燃ごみの回収を現在の週2回から週1回に減らすことは可能と  
 思いますか？

		回 答	計
問 2	1	そう思う	5
	2	どちらかと言えばそう思う	10
	3	どちらかと言えばそう思わない	8
	4	そう思わない	4
			合 計

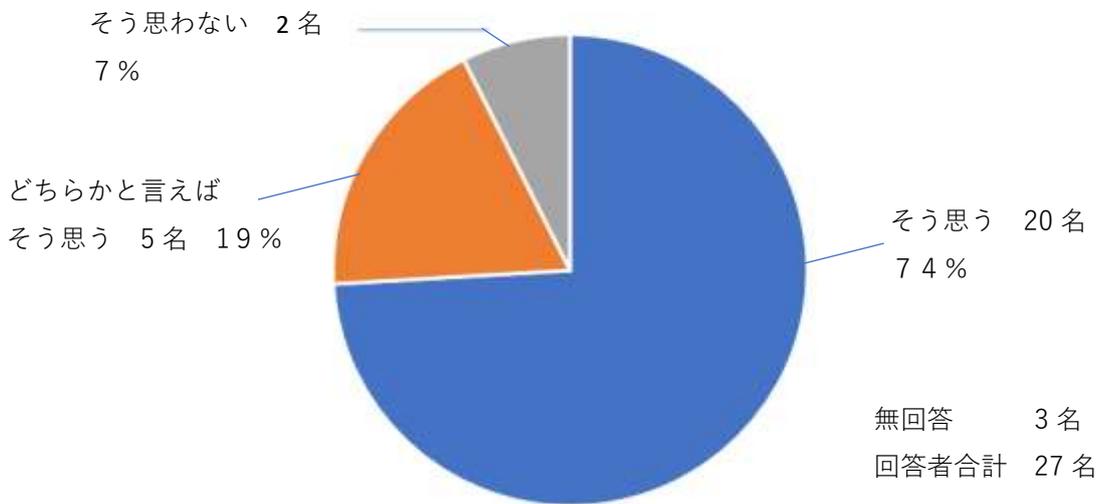


[ 問2に関するご意見 ]

- ・ 生ごみの処理が各家庭でできるのであれば可能。ただし、夏場が特に課題。
- ・ 曜日によって可燃ごみの量が違う。
- ・ しっかりと分別すれば可能。
- ・ 週2回は必要ではないか。
- ・ 週1回にすれば家族全員でゴミ排出に関心が集まるため、対応可能だろう。
- ・ ごみの量が少なくなると思うが週1回では厳しいのではないかな。
- ・ 袋が重くなる。
- ・ 気温が上がると生ごみは腐敗が進み、においや虫の原因になるので長い間家に置きたくない。
- ・ 生ごみを1週間家庭に置くことは大変難しい。特に夏場が課題。
- ・ 可燃ごみは週2回でお願いしたい。むしろ雑がみは、週1回でも良いのではないかな。
- ・ 回収業者の出動回数を減らす事で経費の削減につながるのであれば必要だろう。

問3 ごみの減量化は、より多くの方が習慣化して継続して行うことで効果が表れます。今後も継続して行っていきたいと思われますか？

		回 答	計
問 3	1	そう思う	20
	2	どちらかと言えばそう思う	5
	3	どちらかと言えばそう思わない	2
	4	そう思わない	0
			合 計



[ 問3に関するご意見 ]

- ・ モデル事業に参加して習慣化を感じた。
- ・ 処理先への負担を軽減でき、町の支出する負担金を抑えることができる。
- ・ 1年間やって習慣化しているので、良いことだと思う。
- ・ いろいろな手段を使って町民にアピールしてほしい。広報・回覧・SNS(町メール)など。
- ・ ときがわ町の財政に直結する為。
- ・ 小学校から教育し、ごみの分別を徹底する。
- ・ 意識することは大切。
- ・ ごみ分別と併せてコンポストを2か月利用し、減量に努めている。
- ・ ごみが減れば、捨てに行く手間が省けるので続けていきたい。
- ・ 1人でも多くの方が意識をもつことが大切。
- ・ 今回の事業で身をもって町の行政に参加する事ができ、他人事ではない事を痛感した。
- ・ 習慣化をより進めるために期間を短くして全家庭が早い時期に参加できるとより効果が高まると思う。
- ・ 各家庭がほんの少し意識することで大きな減量につながる。

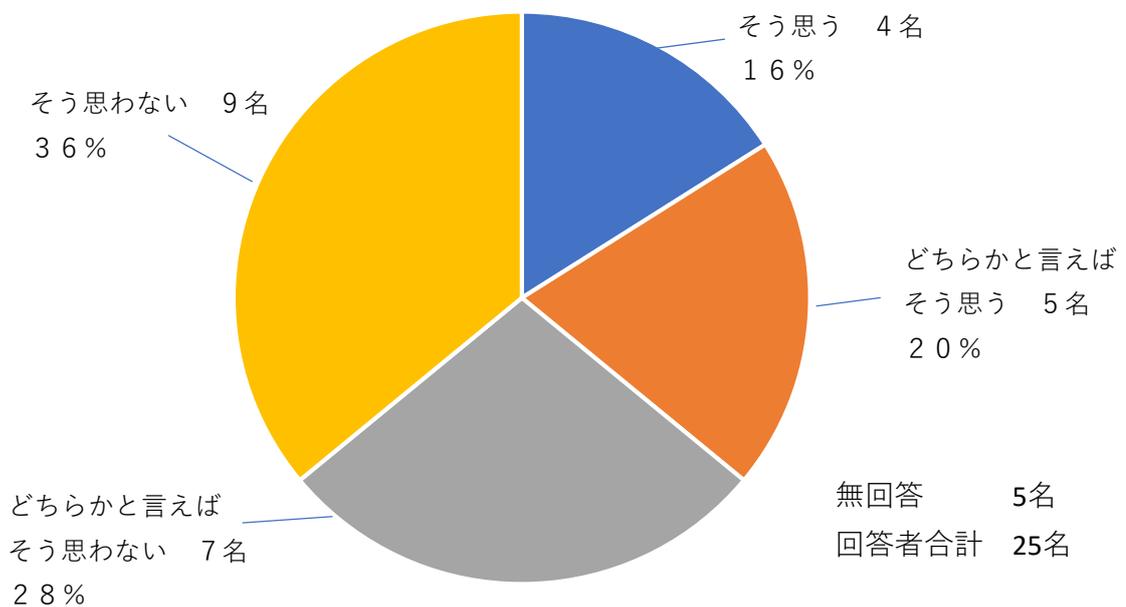
問4 町では、令和4年度もごみ減量化モデル事業を継続しています。モデル事業について、新たな取組のご意見や改善すべき点などありましたら今後の参考のためにお聞かせください。

[ 問 4 に関するご意見 ]

- ・ モデル地区の方で1年間モデル地区であることを知らない方が多かったです。モデル地区になった地区の全世帯に確定通知を出してほしい。
- ・ 各地区に増やしてほしい。
- ・ ごみの分別・減量化の認識を持ってもらうために、1人でも多くの方にモデル事業に参加してもらいたい。
- ・ 計量を忘れないために注意が必要な為、1年間は長く感じた。
- ・ 今後の当番になった方が話し合いをもってより改善してほしい。
- ・ 防災無線を利用し、周知する。
- ・ 減量化の工夫案を頂きたい。
- ・ 馬場地区では、引き受けてもらう家庭の了承を得る前に、実施を決めなくてはならなかった。手順をふんで取り組めるよう段取りを適正にやってほしかった。
- ・ 家庭から出る使用済食用油の回収事業のモデル事業(公会堂などの回収BOXを設置しそこにペットボトルに入れ持参し、資源化業者が回収して再資源化する方法)(廃食用油⇒バイオディーゼル燃料へ)
- ・ 期間の短縮が必要。
- ・ モデル事業系継続には近所の数人のグループ単位で行ってはどうか。意見も出やすいし、さらに関心が高まると思う。
- ・ 分別種類が多すぎる。(他の市町村を参考にしてほしい。)
- ・ 今回のようなごみ減量化を全家庭にお願いしてみてもどうか。全員協力が無理でない意識の向上につながるのでは。

問5 広報4月号でお知らせした生ごみ処理器キエーロ(令和4年度ごみ資源分別カレンダー22ページ参照)について、購入したいと思いますか？

		回 答	計
問 3	1	そう思う	4
	2	どちらかと言えばそう思う	5
	3	どちらかと言えばそう思わない	7
	4	そう思わない	9
			合 計



[ 問5に関するご意見 ]

- ・ 畑とコンポストが既にあるためいない。
- ・ 良好な状態での維持管理が難しい。
- ・ まだ詳しいことが分からない。
- ・ 実際に使っている様子が分かると良い。
- ・ 畑などに埋めることと変わらないとすれば畑のある家庭はその方が楽。
- ・ どれ位の手間がかかるか分からない。
- ・ ごみ減量のために購入したい。
- ・ 住宅の生活環境により設置場所の有無(スペースの問題)。
- ・ 分解された増えるごみの処分方法をどうするか。
- ・ 利用実績の評価がされていないので導入未定。
- ・ 購入してまで必要ではないが、無料なら利用して庭の花の肥料に使いたい。
- ・ 生ごみにはコンポスト容器で十分。

問6 粗大ごみについて、ときがわ町では戸別収集と小川地区衛生組合へ直接搬入をお願いしていますが、この他に町で取り組んでほしい手法等ありましたら今後の参考のためにお聞かせください。

[ 問6に関するご意見 ]

- ・ 木をチップ化する機械を貸し出してほしい。
- ・ ごみを出さないために野外で燃やす方もたまにおり、本末転倒である。徹底したお知らせ等もお願いしたい。
- ・ 直接小川地区衛生組合に持参するものは、高齢者世帯では運転も困難になりつつある。有料化でもよいので運搬を考えてほしい。
- ・ 簡素化してほしい。他の市町村を参考に
- ・ 小川地区衛生組合以外でも直接搬入を可能にしてほしい。
- ・ 他市には粗大ごみを無料で個別収集してくれる所や17時以降に搬入受け入れをしてくれる所もある。フルタイムで働く者はとても助かります。検討してほしい。
- ・ 現状のままで良いが、搬入できる物・できない物の区別がもう少し詳しく分かるとよい。  
(例)小川地区衛生組合で焼却しなくなったが、木材製品などどのくらいの大きさまで可能かなど。
- ・ 粗大ごみは搬入までの処理が大変で、業者に頼むときがある。
- ・ 戸別収集と直接搬入の2種類あり、利用しやすい為現状維持してほしい。
- ・ 町内で搬入場所を作って便利に使う。
- ・ 年に1～2回に簡単に利用出来るシステムがあったら嬉しい。今の方法でも良い。

## 6 まとめ

- ・ アンケートの中で、ごみ分別の意識が高まったこと、ごみ減量への関心をもってモデル事業に参加したことでごみ分別の大事さを認識した意見も多くあった。
- ・ 生ごみの水切りに加え、生ごみ処理容器キエーロやコンポスト容器の活用により、可燃ごみ減量を向上させていきたい。
- ・ 生ごみ処理容器キエーロについて、「購入したい」という意見もあったが、畑やコンポストを所有している方は不要と回答する意見が多かった。
- ・ 将来的に収集運搬回数を減らせるかについて、各家庭で分別や生ごみの処理ができれば可能だと思いが、夏季における保管を心配する意見が多くみられた。
- ・ 町全体でゴミ減量事業を広げていくことで、負担金や委託料などが削減され、町の支出が減るのではないかという意見もあった。
- ・ 粗大ごみの処理について、戸別収集と小川地区衛生組合への直接搬入以外で、町内に持込み場所を作って、町が収集運搬してくれるサービスや、小川地区衛生組合が17時以降も受付してくれると助かるという意見もあった。